

Vol.70

R3 新年号

大地

DAICHI



熊本県 美里町
みどりかわ湖どんと祭り

「コロナ退散 炎に願う」 西日本最大級、熊本県美里町の高さ15mの巨大どんとや (令和3年1月14日)

Contents

ACTION

- 新年のご挨拶
熊本県土地改良事業団体連合会 会長 荒木 泰臣 …… 1
- 第17期(平成31年4月～令和5年3月末日)役員名簿 …… 1
- 新年にあたって
全国土地改良事業団体連合会 会長 二階 俊博 …… 2
- 新年のご挨拶 都道府県水土里ネット会長会議 顧問
参議院議員 進藤金日子 …… 3
- 新年のご挨拶 都道府県水土里ネット会長会議 顧問
参議院議員 宮崎 雅夫 …… 4
- 進藤金日子、宮崎雅夫両参議院議員・都道府県水土里
ネット会長会議顧問と熊本県並びに水土里ネット熊本との
意見交換会 …… 5
- 「農業農村整備の集い」が開催 …… 5
- 土地改良事業団体連合会九州協議会による要請・要望活動 …… 6

- 令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興に対する支援 …… 7
- 九州農政局への支援要請 …… 8
- 進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員への
被災状況報告及び早期復興支援の要請 …… 8

INFORMATION

- 土地改良区合併予備契約調印式が行われました …… 9
- 八代市の「石造りレガシー」が日本遺産に認定されました …… 9
- 新型コロナウイルス感染拡大防止への取組み …… 10
- 令和3年度 農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要 …… 10
- 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2020入選作品 …… 11
- 土地改良法律相談・会計業務相談のご案内 …… 11
- 複式簿記導入のサポートのご案内 …… 11
- 全国土地改良大会のお知らせ …… 11



水土里ネット熊本
(熊本県土地改良事業団体連合会)

新年のご挨拶

熊本県土地改良事業団体連合会
会長 荒木 泰臣

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご健勝のうちに新年をお迎えることとお慶びを申し上げます。また、日頃から本会の業務運営並びに農業農村整備事業の推進につきまして、特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、全国的に新型コロナウイルス感染症の拡大や豪雨災害の発災など、例年にも増して厳しい状況に見舞われました。特に、令和2年7月豪雨災害では、球磨川水系の地域をはじめ県内各地に甚大な被害をもたらしました。被災されました多くの皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、復旧・復興にご尽力いただいている行政機関や土地改良関係者の皆様に心から敬意を表します。

さて、農業農村整備関係予算につきましては、二階会長を先頭に各方面における関係の皆さんのご努力により年々当初予算が増額されております。このことは、土地改良事業が国の根幹をなすものだという強い認識によるものだと思っております。特に防災、減災、国土強靱化については現在の3ヶ年緊急対策に続き「防災・減災、国土強靱化のための5ヶ年加速化対策」という形で国家対策が継続強化されることとなりましたので、私共、土地改良事業団体連合会としてもしっかりと取り組んでいかなければならないと考えております。

また、コロナ禍の長期化により、「密から疎」、「集中から分散」などの機運が高まっている中、昨年9月に誕生した菅政権におきましても、「デジタル社会の実現」、「活力ある地方を創る」、「新たな人の流れをつくる」などの理念を掲げ、様々な政策を展開しているところであります。今後、デジタル社会に向かって我々の業務への影響も考えながら、各関係団体と協力し会員の皆様と共に土地改良事業の推進により一層努力して参りたいと考えております。

結びとなりますが、今年は災害の無い穏やかな一年でありますとともに、皆様にとりましてコロナ禍を乗り越えた希望に満ちた一年になりますよう心からご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



令和3年1月4日 仕事始め式より

●第17期(平成31年4月～令和5年3月末日) 役員名簿 (令和3年1月現在)

監事	監事	総括監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事	副会長	副会長	会長
岡村	山本	吉良	森本	竹崎	藤本	本田	古庄	後藤	中逸	新野	元松	村上	小柳倫太郎	坂田	中嶋	荒木
(百太郎溝土地改良区理事長)	(豊田土地改良区理事長)	(南阿蘇村長)	(完一)	(芦北町長)	(水川町長)	(阿蘇土地改良区理事長)	(泗水町土地改良区理事長)	(菊陽町長)	(長洲町長)	(三角町土地改良区理事長)	(宇土市長)	(熊本市南土地改良区理事長)	(学識経験者)	(八代平野北部土地改良区理事長)	(山鹿市長)	(嘉島町長)
文明	誠	清一	完一	一成	一臣	二男	廣美	三雄	博光	真司	茂樹	義博	孝志	憲正	泰臣	

新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会
会長 二階 俊博

令和3年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。昨年は、新型コロナウイルスが世界各国で感染拡大し、新しい生活様式、新しい仕事の仕方が求められる等、これまで経験したことのない一年となりました。また、7月の豪雨や台風による暴風雨により、全国で多くの被害が発生しました。お亡くなりになられた方々の御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された多くの皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。被災された方々の生活を一刻も早く回復していくためには、被害を受けた農地や農業用施設の復旧・復興が第一に重要であり、日頃から土地改良に携わる皆様方には、全国各地で復旧・復興の先頭に立っていただいていることについて、心から敬意を表します。



全国で32ヶ所のため池が決壊した「平成30年7月豪雨」を契機として、全国のため池の関係者の方々から、ため池の防災工事を推進するための財政的・技術的な支援を求める声が高まり、昨年6月、ため池に関する特別措置法が議員立法として成立致しました。この議員立法の成立には、多くの国会議員の皆様のお尽力を頂きましたが、中でも進藤金日子・宮崎雅夫両参議院議員には、法案の検討段階から中心となって御活躍頂きました。土地改良関係者が一丸となって、全力で対応した結果であったと思います。心から厚く御礼を申し上げます。

さて私は、本会の会長に就任して以来、「闘う土地改良」を掲げて参りました。そして組織一丸となって闘った結果、補正予算などを含めまして、大幅削減前を大幅に上回る予算を確保することが出来ました。

令和3年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案においては、4,445億円を確保することができました。さらに、令和2年度の補正予算を含めると6,300億円となります。また、防災・減災の為の国土強靱化対策が延長され、新たな5ヶ年加速化対策として、15兆円が予算化されることとなりました。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

いま、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。また、近年、自然災害が大規模化、多発化する傾向にあり、農地・農業用施設でも大変大きな被害が続いています。

これらの農業農村の危機的な事態に鑑み、昨年3月に新しい「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定され、農業者はもとより国民の皆様方に農業・農村の現状、課題を理解いただき、食糧供給や国土保全などの多面的な役割を果たす農業・農村は「国の礎」との認識を分かち合い、国民全体で農業、農村を次の世代につないでいくこととされました。

私たち土地改良担当者としては、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様方にアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、本日、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

都道府県水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 進藤 金日子

明けましておめでとうございます。熊本県の皆様には、今年の「進藤金日子と農山漁村を考える会」等の政経セミナーへのご協力をはじめ、日頃から大変お世話になり、新年を迎えるに当たり衷心より感謝申し上げます。

去年は、新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年でした。昨年、新年を迎えた時には、まさかこのような事態に陥るとは誰もが想像だにしていなかったと思います。まずは、このコロナ禍を国民一体となって乗り越え、克服することが最重要課題です。

さて、令和2年度第3次補正予算と令和3年度予算の政府案が閣議決定されました。まずは、3ヶ年緊急対策に引き続き「防災・減災、国土強靱化のための5ヶ年加速化対策」が事業規模15兆円程度で実施されることになりました。土地改良予算に関しては、令和3年度に執行可能な予算として全国各地域の要請に基づき、補正と当初を合わせて6,300億円確保できました。令和2年度第3次補正予算は1,855億円であり、「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施関連で700億円、防災・減災、国土強靱化と災害復旧の推進関連で1,155億円計上されています。また、令和3年度予算は4,445億円であり、食料安全保障の確立と国土保全等を図ることが明確化され、収益性・防災性の向上に資する農地の大区画化、水田の畑地化・汎用化、農業水利施設の維持・保全等を実施する土地改良事業を重点的に推進することとしています。また、防災・減災、国土強靱化の推進に関連して、激甚化する災害に備えるため、ため池や農業水利施設の整備を推進することとしています。更にポストコロナを見据えた農村の定住条件を整備する農村整備事業も盛り込まれています。これら予算案については、通常国会で審議されますが、まずは令和2年度第3次補正予算の早期成立に向けて全力を尽くし、令和3年度予算の年度内成立に向けて努力して参る所存です。

去年は、宮崎雅夫参議院議員と連携して一定の成果を出すことができました。「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の議員立法による制定、自民党農村基盤整備議員連盟(二階俊博会長)として「農業農村の振興を先導する土地改良」(全国事例集)の発刊できたこと、自民党女性局機関誌の「りぶる」での土地改良特集の実施などが挙げられます。加えて、土地改良関係者をはじめ多くの方々から様々なご意見をお聴きし、こうした声を国会質問に反映したり、自民党部会等で発言したり、農水省に直接伝えることなどにより、課題解決の一助となった例も多くなってきました。引き続き緊張感を持って農業・農村の振興に向け、しっかりと活動を進めて参る所存です。

熊本県の皆様にとって本年が素晴らしい年でありますよう祈念いたしますとともに、更なるご指導とご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

都道府県水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 宮崎 雅夫

明けましておめでとうございます。

熊本県の土地改良関係の皆さまに謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆さま方には、平素より土地改良の推進、農業農村の活性化にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、私の国政活動に甚大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。また、去年は全国的に新型コロナウイルス感染症や豪雨災害など、例年にも増して厳しい状況に見舞われましたが、影響や被害等に遭われた方々に衷心よりお見舞い申し上げますとともに、速やかな回復や復旧に向け私も最大限の努力をしまいる所存です。



さて、去年の通常国会では、近年の頻発化、激甚化する自然災害対策への全国各地からのご要望を踏まえ、進藤金日子参議院議員と取り組んだ議員立法「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」の成立により新たな法的枠組みをつくることができました。これを受けて11月には農林水産大臣、総務大臣、防災担当大臣による三大臣会合が持たれ、地方財政措置の拡充など事業推進に向けた対応が進められています。

また、皆さまが特にご関心の、防災・減災、国土強靱化対策については、現行の3ヶ年緊急対策に続き令和7年度までの5ヶ年加速化対策として、激甚化する風水害等対策、予防保全に向けた老朽化対策、国土強靱化対策のデジタル化など、取組のさらなる加速化、深化を図ることとしており、防災重点農業用ため池や農業水利施設等の老朽化対策、予防保全が加速化されることとなります。

農業農村整備関係予算については、皆さま方のご尽力をいただきながら、総額6,300億円(当初4,445億円、補正:国土強靱化加速化対策1,155億円、TPP対策700億円)を確保することができました。1月に開会される通常国会では、これら予算ならびに関連法案の早期成立に向け、引き続き努力して参る所存です。

また、コロナ禍の中で生まれつつある都市から農村への人の流れをとらえ、農村インフラの持続性確保や情報通信環境整備などにもしっかりと取り組んでいかなければなりません。さらに、多くの食料を海外に依存している我が国にとって食料安全保障は重要な課題であり、食糧自給率向上に向けた取組と併せて生産性の高い農地や農業水利施設を次世代にしっかりと引き継いでいかなければなりません。これからも進藤金日子議員とともに、農業農村を守り発展させていくため、土地改良の計画的な推進と予算の安定的確保に向け、皆さま方からご指導をいただきながら努力してまいります。

結びに、熊本県の皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念するとともに、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

●進藤金日子、宮崎雅夫両参議院議員・都道府県水土里ネット会長会議顧問と熊本県並びに水土里ネット熊本との意見交換会



荒木会長



進藤参議院議員



宮崎参議院議員

令和2年10月31日(土)に熊本県との合同による進藤金日子参議院議員並びに宮崎雅夫参議院議員との意見交換会を行いました。熊本県からは竹内農林水産部長、久保田農村振興局長はじめ幹部職員、本会からは荒木会長、中嶋副会長、坂田副会長、小柳常務理事他管理職が出席しました。

本会の荒木会長は、「土地改良区の運営基盤強化並びに、防災・減災、国土強靱化に関する事項について、引き続き絶大なる支援をお願いしたい」と要望されました。

進藤参議院議員からは、適正化事業の必要性を述べられた後、「技術職員の確保についても極めて重要であり、総務省の方針と合わせて対応していきたい」と述べられました。また、宮崎参議院議員からは、災害発生後の制度について触れられ、「災害の対応に関する制度の見直しが急務と感じている。運用や効率的な事を含め、現場の声を聴いて整備する必要がある」と述べられました。

進藤・宮崎両参議院議員との意見交換会は、終始、和やかな中にも要望事項の解決に向けた活発な意見交換が行われました。



進藤参議院議員への要望書手交



宮崎参議院議員への要望書手交



進藤・宮崎両参議院議員への要望書手交

●「農業農村整備の集い」が開催



全国水土里ネット二階俊博会長の挨拶

「農業農村整備の集い」―農を守り、地方を創る予算の確保に向けて―が全国水土里ネット及び都道府県水土里ネットの共催により、令和2年11月20日(金)、東京・平河町のシェーンバッハ・サポーンにおいて開催されました。農林水産省から野上農林水産大臣をはじめ農村振興局幹部、衆参両院の国会議員39名のご出席をいただき、全国の土地改良関係者を合わせて約500名が参集しました。熊本県からは、本会の坂田副会長、小柳常務理事及び事務局から4名が参加しました。

主催者挨拶で二階俊博全国水土里ネット会長は、「土地改良は現状に満足せず、更なる前進、高みを目指していくためには、闘う決意が必要である」と力強く挨拶されました。要請案文が朗読されると満場一致で採択され、会場はコロナを吹き飛ばすほどの熱気につつまれました。最後に、農業農村整備事業予算の確保に向け、水土里ネット群馬の熊川栄会長の「ガンバロウ」の発声に大きな拍手で応え、予算確保へ一致団結して取り組むことを誓い合いました。



二階俊博会長



進藤金日子
都道府県水土里ネット会長会議顧問



宮崎雅夫
都道府県水土里ネット会長会議顧問

●土地改良事業団体連合会九州協議会による要請・要望活動

令和2年11月19日（木）から11月20日（金）にかけて、土地改良事業団体連合会九州協議会（水土里ネット長崎古川会長）と九州農業農村整備事業推進協議会（長崎県協議会宮本会長）は合同で農林水産省、自由民主党、関係国会議員への要請・要望活動を行いました。本会からは、九州協議会の副会長として坂田副会長並びに小柳常務理事が出席。

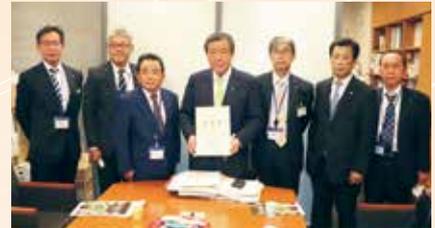
自由民主党においては、二階幹事長、佐藤総務会長、森山国会対策委員長、野村参議院議員、宮崎参議院議員などに要請活動を行いました。



二階幹事長への要望書手交



佐藤総務会長への要望書手交



森山国会対策委員長への要望書手交

農林水産省への要望では、野上農林水産大臣、葉梨農林水産副大臣、宮内農林水産副大臣、池田大臣政務官、熊野大臣政務官、枝元農林水産事務次官、牧本農村振興局長、奥田農村振興局次長などに要請活動を行いました。



宮内農林水産副大臣への要望書手交



枝元農林水産事務次官への要望書手交



牧本農村振興局長への要望書手交

また、水土里ネット熊本は、独自の要請・要望活動として令和2年11月20日（金）に、坂田副会長、小柳常務理事及び事務局の4名で熊本県選出の国会議員、衆議院議員（木原事務所、野田事務所、坂本事務所、金子事務所）、参議院議員（松村事務所、馬場事務所、藤木事務所、進藤事務所、宮崎事務所）に対し要請・要望活動を実施しました。令和3年度の予算満額確保や災害復旧に必要な財源確保、土地改良区の運営基盤強化に向けた十分な予算措置などを訴えました。



野田代議士への要望書手交

要望書

九州・沖縄地域の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

九州・沖縄地域の農業・農村は、温暖な気象条件等の地域特性を生かした多様な農産物を生産し、国民に安全・安心な食料を安定的に供給するなど、我が国の食料供給基地として重要な役割を担っております。

しかしながら、現下の九州・沖縄地域の農業・農村は、農業従事者の高齢化や減少等による農地の荒廃や鳥獣被害、担い手不足による農業用施設等の管理や営農の継続への影響などに加えて、頻発する自然災害により、地域活力の低下なども懸念されています。

さらには、今般の新型コロナウイルス感染症により、国民生活のみならず、農業・農村および農業農村整備事業への多大な影響が危惧されております。

また、令和2年7月豪雨災害は、熊本県をはじめ九州各府でこれまでに経験したことのない様な大雨により、広範囲にわたる河川の氾濫や決壊、家屋への浸水や土砂災害など甚大な被害となっており、農地の埋没や流出のほか、農業用施設の損壊及び山地の崩壊など、地域生活を支える農林水産業にも甚大な被害が生じています。

土地改良事業団体連合会九州協議会といたしましても、大規模災害に備えて締結した協定を活用し、九州一帯となって復旧・復興に取り組んでいます。

このような中、国におかれましては、食料自給率の向上と食料安全保障を確立することを基本方針とした新たな「食料・農業・農村基本計画」を本年3月に閣議決定されました。その中で、農業の持続的な発展に関する施策として、担い手への農地集積・集約化と農地の確保、農業の成長産業化や国土強靱化に資する農業生産基盤整備を掲げておられます。具体的には、「農業の成長産業化」の観点から我が国の様々な気候風土に適した農業の多様性を活かした農業生産基盤の整備、「国土強靱化」の観点から農業水利施設の長寿命化のための適切な管理・保全・改修を含む農村地域の防災・減災対策を効果的に推進することとしています。

さらに本年6月「防災重点の池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」も成立され、防災工事等の集中的かつ計画的な推進を図ることとなりました。

このため、両九州協議会では、これまで培ってきた経験、技術や水士業情報システムなど持つる力を最大限に活用し、多くの課題を解決しながら、各種施策を実現するため、九州・沖縄が一丸となって、農業農村整備事業を強力に推進することとしております。

つきましては、このような九州・沖縄地域の取り組み、農業・農村の現状をご賛意いただき、農業農村整備事業に際しまして特段のご配慮を賜りますよう、下記事項を強く提案いたします。

記

- 1 令和3年度農業農村整備事業概算要求額の満額確保並びに九州・沖縄地域への重点配分
- 2 事業効果の早期発現のために、令和2年度3次補正での必要額の確保
- 3 令和2年7月豪雨災害など、九州・沖縄各地で頻発している自然災害からの復旧・復興に必要な財源の確保
- 4 農業用ダム及び農業用ため池の管理・保全・改修に必要な財政的支援
- 5 土地改良法改正に伴う土地改良区の運営基盤強化に向けた十分な予算措置

九州農業農村整備事業推進協議会

会長	宮本 明雄	(福岡県農業建設委員会 議長)
副会長	中嶋 憲正	(熊本県農業建設委員会 会長)
委員	野田 吉寛	(福岡県農業建設委員会 委員)
		(九州土地改良局理事)
委員	江津口 幸次	(鹿児島県農業建設委員会 会長)
委員	足永 勝治	(大分県農業建設委員会 会長)
委員	宮原 義久	(沖縄県農業建設委員会 会長)
委員	本島 輝雄	(鹿児島県農業建設委員会 会長)

土地改良事業団体連合会九州協議会

会長	古川 隆三郎	(福岡県土地改良事業団体連合会 会長)
副会長	電 未 泰三	(熊本県土地改良事業団体連合会 会長)
副会長	新川 九三	(大分県土地改良事業団体連合会 会長)
副会長	田島 隆一	(鹿児島県土地改良事業団体連合会 会長)
副会長	高 藤 賢二	(大分県土地改良事業団体連合会 会長)
副会長	丸 井 賢一	(沖縄県土地改良事業団体連合会 会長)
副会長	吉 野 高亮	(鹿児島県土地改良事業団体連合会 会長)
副会長	宮 瀬 敬春	(福岡県土地改良事業団体連合会 会長)

●令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興に対する支援

・令和2年7月豪雨災害の発災

線状降水帯の停滞により県南地域を中心とした豪雨により、一級河川球磨川をはじめ、本流・支流を含めた河川が氾濫。特に人吉市、球磨村、芦北地域では甚大な被害が発生した。7月4日午前4時50分、県南部を中心とする16市町村に県内初の大雨特別警報が発令された。※被害件数は、15,000件を超え、被害額は約405億円となり、近年では平成28年の熊本地震に次ぐ甚大な被害となった。



・令和2年7月豪雨災害への本会の取り組み

・被災土地改良区への災害支援物資の提供

本会では、飲料水や土嚢袋・ブルーシート等の災害支援物資の調達及び、水土里ネット女性の会を通じ、タオルなどの生活支援物資の提供を呼び掛け、被災した人吉・球磨地域の土地改良区へ提供した。



・市町村に対する被害状況調査への支援

芦北町、津奈木町、人吉市、相良村、山江村、球磨村では人命救助並びにライフラインの確保を最優先に取り組む職員に代わり、本会では農地・農業用施設に係る被害状況調査等の技術支援を国・県と共に7月13日から31日まで実施した。水土里ネット熊本の技術者のべ116人、58班が各被災地で被害状況調査を実施し、被害箇所数及び被害額の全体把握に貢献した。



・被災土地改良区への災害ボランティアの実施

県内の土地改良区の若手職員を中心に活動している水土里サークルへ呼びかけ、人吉・球磨地域の被災した土地改良区へ災害ボランティアを実施。本会職員及び県内土地改良区職員が協働し、水路に堆積した土砂の撤去などを行った。



・災害対策室の設置及び専従職員配置及び市町村への技術職員の派遣

災害業務に特化した専従環境として、技術職員19名を4班体制で配置する「令和2年7月豪雨災害対策室」を9月7日に設置し、円滑な災害査定への受検に向け経験豊富なスタッフが被災地の査定設計書を作成した。

佐賀県土地改良事業団体連合会及び宮崎県土地改良事業団体連合会と「大規模災害時における土地改良事業団体連合会九州協議会連携支援に関する協定書」を締結。被災した市町村へ技術職員を派遣し円滑な災害査定を支援した。

派遣先 人吉市：10/5から12/23まで延べ130名（佐賀県土連）

球磨村：10/19から12/25まで延べ96名（宮崎県土連）

※派遣いただいた佐賀県土連・宮崎県土連の皆様には衷心よりお礼申し上げます。



・熊本県土連のR2年7月豪雨災害査定実績

災害が発生した全39市町村のうち、約6割にあたる23市町村の災害査定に対応し、査定設計書の作成件数は458箇所となった。

・発災直後の初動対応から査定対応完了に至るまで、令和2年12月25日をもって全査定を滞りなく完了した。



●九州農政局への支援要請

荒木会長、中嶋副会長、坂田副会長、小柳常務理事他3名は、7月21日の九州農業農村整備事業推進協議会及び土地改良事業団体連合会九州協議会合同による九州農政局への政策提案会に出席し、横井九州農政局長、大内農村振興部長をはじめ、11名の九州農政局農村振興部幹部の方々に対し、九州・沖縄地域における農業農村整備事業の強力な推進と令和2年7月豪雨災害からの早期復旧への支援を要請した。



要望書の手交



本会会長 荒木町長
本会副会長 中嶋市長
本会副会長 坂田県議



横井農政局長及び大内農村振興部長との意見交換



「令和2年7月豪雨に関する緊急要望書」

●進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員への被災状況報告及び早期復興支援の要請

総務大臣政務官・内閣府大臣政務官（当時）進藤金日子参議院議員及び全国水土里ネット会長会議顧問宮崎雅夫参議院議員が熊本県内の被災地を視察。

本会も熊本県と共に、各地の被災状況を報告し、令和2年7月豪雨災害からの早期復旧を要請した。



進藤金日子参議院議員の芦北町視察状況
(本会理事:竹崎町長)



宮崎雅夫参議院議員の八代市視察状況
(中村市長、本会副会長坂田県議)

土地改良区合併予備契約調印式が行われました

県内の各地域で、土地改良区の合併（令和3年4月）に向けた予備契約調印式が行われております。

玉名平野土地改良区・玉名市土地改良区

合併予備契約調印式 令和2年7月10日（金）



司ロイヤルホテル「鳳凰の間」において、玉名平野土地改良区と玉名市土地改良区の合併予備契約調印式が開催され、玉名市村上隆之副市長立ち会いのもと、

令和3年4月の発足に向けての予備契約を交わしました。新しい名称は『玉名平野土地改良区』の予定です。

八代平野南部土地改良区・水島土地改良区

合併予備契約調印式 令和2年8月31日（月）



八代平野南部土地改良区事務所において、八代平野南部土地改良区と水島土地改良区の合併予備契約調印式が開催され、令和3年4月の発足に向けての予備

契約を交わしました。新しい名称は『八代平野南部土地改良区』の予定です。

山鹿・鹿央土地改良区・内田川地区土地改良区

合併予備契約調印式 令和2年10月19日（月）



山鹿市役所3階301会議室において、山鹿・鹿央土地改良区と内田川地区土地改良区の合併予備契約調印式が開催され、山鹿市中嶋憲正市長立ち会いのもと、

令和3年4月の発足に向けての予備契約を交わしました。新しい名称は『山鹿土地改良区』の予定です。

緑川南部土地改良区・豊田土地改良区・宇土八水土地改良区

合併予備契約調印式 令和2年10月30日（金）



熊本市役所5階庁議室において、緑川南部土地改良区及び豊田土地改良区並びに宇土八水土地改良区の合併予備契約調印式が開催され、熊本市大西一史市長、宇土市元松

茂樹市長立ち会いのもと、令和3年4月の発足に向けての予備契約を交わしました。新しい名称は『熊本平野南部土地改良区』の予定です。

八代市の「石造りレガシー」が日本遺産に認定されました

6月19日、有形、無形の文化財群が織りなす物語で地域の魅力を発信する「日本遺産」の第6弾に、八代平野北部土地改良区が管理する樋門など24の文化財で構成する「八代を創造（たがや）した石工たちの軌跡～石工の郷に息づく石造りのレガシー～」が選ばれました。県内の認定は3例目です。石工にまつわる文化を是非ご覧ください。



国指定重要文化財「旧郡築新地甲号樋門 附・潮受堤防」

「旧郡築新地甲号樋門」は、明治時代に八代郡が干拓を行った「郡築新地」に設けられた樋門で、明治33年に竣工しました。事業当初に建設された樋門としては、唯一残存する大規模で貴重な土木構造物です。



国登録有形文化財「郡築二番町樋門」

「郡築二番町樋門」は、明治時代、高潮により決壊の被害を受けた堤防の補強のため、昭和13年に建造されました。この時期に他地域で建造された樋門の多くがコンクリート造のため、八代で長い間石工が活躍していたことを現在に伝えています。

（写真：八代市日本遺産活用協議会提供）

新型コロナウイルス感染拡大防止への取組み

水土里ネット熊本は「万全な感染対策」と「ツール」を駆使して、今「必要なこと」、「必要とされていること」に全力で取り組んでいます!



▶非接触型
体温計で
毎朝の検温を徹底



定期的な換気

職場を守るのは、家族を守ること、仕事に責任を持つことだから、水土里ネット熊本は「持ち込まない」、「うつさない」



◀Web会議の状況
参加者間には
アクリルボードを設置

▶非接触式検温
サーモカメラ
手指消毒液
入館制限の看板
を本会入り口に
設置



▼Web会議用大型モニター



▼Webカメラ



▲顧問弁護士との相談状況

【この他の取組み】

- ・マスク着用の徹底
- ・応接テーブル周りのこまめな消毒
- ・体調不良時は無理なく休む
- ・館内で職員を分散し、密状態の徹底回避

令和3年度 農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

農林水産省は、令和2年12月21日、令和3年度農村振興関係予算概算決定の概要並びに令和2年度補正予算を公表しました。

(単位：億円)

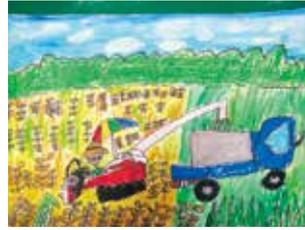
区分	令和2年度 予算額	令和3年度 概算決定額 (A)	令和2年度 補正追加額 (B)	合計 A+B
農業農村整備事業 (公共)	3,264	3,333 (102.1%)	1,855	5,188 (158.9%)
農業農村整備関連事業 (非公共) (農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農山漁村振興交付金)	508	518 (102.0%)		518 (102.0%)
農山漁村地域整備交付金 (公共) (農業農村整備分)	661	595 (90.0%)		595 (90.0%)
計	4,433	4,445 (100.3%)	1,855	6,300 (142.1%)

- (注) 1 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。
2 令和2年度当初予算額は、「臨時・特例の措置」を除いた金額である。
3 令和2年度補正予算額はTPP等関連対策及び防災・減災、国土強靱化の推進のための対策が対象。
4 農山漁村振興交付金は情報通信環境整備対策及び最適土地利用対策である。

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2020入選作品

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2020には数多くの作品のご応募ありがとうございました。

おかげをもちまして、全国から4,883点、熊本県から85点の応募があり、厳正なる審査の結果、入賞32点、入選158点が選ばれ、熊本県からは6点の作品が入選いたしました。来年度も引き続き、県や市の教育委員会を通じ小学校や幼稚園、保育園へご案内いたしますので、関係の皆様方には、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



「いねかり」
五和小学校 1年 丸山 陽詩さん



「ふるさとのししまいみんなのまつり」
倉岳小学校 2年 山並 ほのかさん



「れんこんほり」
高平台小学校 4年 前田 煌心さん



「私の愛する通潤橋」
出水南小学校 4年 北口 馨さん



「私のふる里彼岸花と棚田」
菊鹿小学校 5年 家入 伶心さん



「一つ一つに願いを込めて」
帯山小学校 5年 柳澤 花音さん

土地改良法律相談・会計業務相談のご案内

問題解決をサポートします！

近年、土地改良事業を取り巻く環境は、施設の多様化や農村地域の都市化・混住化により諸問題等が複雑化・高度化してきています。こうしたことから、本会では土地改良相談等事業により法律及び会計業務等に関する相談業務を弁護士及び公認会計士に委嘱し、会員の皆様の問題解決に努めていますので、問題等がございましたらご相談ください。なお、相談内容についての実例をホームページに掲載しております。是非ご覧ください。

相談窓口・担当課：会員支援課 会員支援係 電話：096-348-8802（直通）

複式簿記導入のサポートのご案内

土地改良区の複式簿記導入をサポートします！

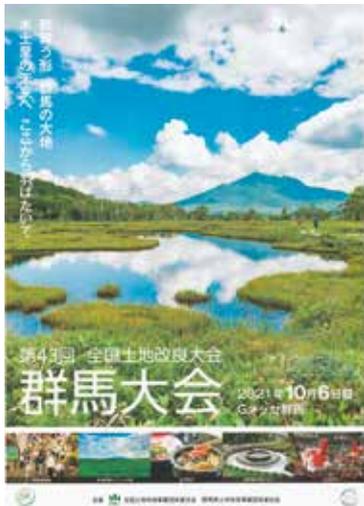
土地改良法の一部改正により、土地改良区等は令和4事業年度から貸借対照表の作成が義務付けられました。そのため、令和3事業年度末までに会計細則の変更や土地改良区会計基準に対応した会計ソフトの購入など、複式簿記の導入に向けた準備が必要です。このことから、本会の職員（会計指導員）が複式簿記の巡回指導をおこない、土地改良区等の円滑な複式簿記導入を支援しています。複式簿記導入に関するサポートは顧問税理士と協力し電話やメールによるご相談にお答え致しますので、いつでもご相談ください。詳細は、ホームページに掲載しております。是非ご覧ください。

相談窓口・担当課：総務課 経理係 電話：096-348-8801（直通）
西岡 kenji.nishioka@higosanae.or.jp 石井 daisuke.ishii@higosanae.or.jp

全国土地改良大会のお知らせ

●第43回全国土地改良大会群馬大会が開催されます。

2021年10月6日（水）第43回全国土地改良大会群馬大会（全国土地改良事業団体連合会、群馬県土地改良事業団体連合会主催）が、群馬県コンベンション施設「Gメッセ群馬」を会場に開催されます。



新しい農業農村を目指して

大地 Vol.70
令和3年新年号

■発行所 / 水土里ネット熊本
(熊本県土地改良事業団体連合会)
■編集発行人 / 荒木泰臣



熊本市北区
龍田陳内3丁目15番1号

